

Webex Room Kit Plus PTZ導入事例

学校法人 電子学園 iU 情報経営イノベーション専門職大学 様



オンライン×対面のハイフレックス型授業にWebexを活用 高等教育のイノベーションにより新たな学びのカタチを目指す

2020年4月、東京都墨田区に開学したiU 情報経営イノベーション専門職大学（以下、iU）。「ICTで、まだない幸せをつくる。」のスローガンを掲げ「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」の教育理念のもと、学生に「就職ではなく、起業により社会で活躍、貢献するための学び」を提供しています。コロナ禍の中で誕生した同大学では、対面とオンラインで同時に授業を行う“ハイフレックス型”授業の実現を目指し、三菱電機システムサービスからWebex Room Kit Plus PTZを導入、2021年4月から利用を開始しました。

Contents Index

背景・課題	教員がオンライン・現地の学生どちらにも配慮して授業を進められるツールが求められた
検討～導入	直感的な操作性と品質・コストのバランスからWebexを選定 音響機器との連携など構築も問題なく進行
活用効果	使いやすく、授業利用展開もスムーズ カメラ、音響機器が据え置き型のため接続トラブルも少ない
今後の展開	企業との連携や各種イベントなどへ活用範囲を拡大 高等教育のイノベーションにより新たな学びのカタチを目指す

学校法人電子学園 iU 情報経営イノベーション専門職大学 ユニット長の岡田倫太郎氏と、メディアデザイン学博士で講師の山内正人氏のお二方に、お話を伺いました。

背景 課題

教員がオンライン・現地の学生どちらにも配慮して
授業を進められるツールが求められた

■ 貴学の特徴および、設立の狙いをご紹介ください。

「iUは、文部科学省が制度化した新しい高等教育の枠組みである専門職大学として2020年4月に誕生した、東京都墨田区初の4年制大学です。学長の中村伊知哉は「全員インターン、全員起業。プロと学んで、未来を創る。何にでも挑戦できる場」を理想に掲げ、学生に起業する力をつけることがiUの目標です。連携企業が約200社、客員教員が約300人。ICT・ビジネス・グローバルコミュニケーションの3つを大きな柱とし、それらを融合させてイノベーションとビジネス力を高めるプロジェクト的な学びを提供しています。初年度は全国から高い志を持つ230名の学生が集まりました。」（岡田氏）

■ 今回のソリューション導入の目的は何だったのでしょうか？

「図らずもコロナ禍と共に開学することになったiUでは、正規授業前のプレ授業から前期のすべての科目でオンライン授業を実施。2020年度後期には、一部科目は対面で授業を行ってきました。学生は自身の置かれた状況に応じて参加方法を選べることで学習環境の選択の幅が広がり、ひいては自身の将来の可能性も広がります。その一方、教員がオンライン・現地の学生どちらにも配慮して授業を進めることができるツールが求められました。」（山内氏）

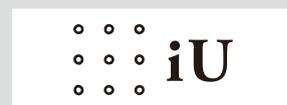


学校法人 電子学園
情報経営イノベーション専門職大学
ユニット長
岡田倫太郎氏



学校法人 電子学園
情報経営イノベーション専門職大学
講師 博士（メディアデザイン学）
山内正人氏

User Profile



学校法人 電子学園
情報経営イノベーション
専門職大学

所在地：東京都墨田区文花1-18-13
学 長：中村 伊知哉
URL：https://www.i-u.ac.jp/

検討
導入

直感的な操作性と品質・コストのバランスから Webex を選定 音響機器との連携など構築も問題なく進行

▶ さまざまなコラボレーションツールが存在する中で、シスコ製品を選定された理由は？

「同じ授業を対面とオンラインの双方で受講できる“ハイフレックス型”授業の実現にはビデオ会議機器と Web 会議アプリが一体化したシステムが欠かせず、そもそもの選択肢が多くありません。対応可能なメーカー数社から実機をお借りして試してみたところ、Webex Room Kit Plus PTZ がコスト面でも、機能面でも最適でした。」(山内氏)

▶ シスコ製品の優位性はどのような点でしょうか？

「第一に、直感的な操作性です。他社がリモコン操作なのにに対しシスコはタブレットのタッチ操作で視覚的にも見やすく、接続先を選ぶ際もわかりやすい。第二にコストパフォーマンス。他社もいくつかのグレードにより画質や音質を向上できますが、その分割高になります。その点でシスコがもっともコストと性能のバランスがとれていました。」(山内氏)

▶ 導入のプロセスで苦労された点はございますか？

「カメラの設置場所や既存音響システムとの連携、本体の格納場所について検討が必要でした。特にオンラインでは、音の回り込みやハウリングへの対応の難しさも予想されました。シスコに相談したところ信頼できるパートナーとして、三菱電機システムサービスを紹介いただきました。三菱電機システムサービスは本学の教室ごとに異なる環境や接続機器に対して親身になって設計、細かく調整いただき、スムーズに導入することができました。」(山内氏)



三菱電機システムサービスが
導入した製品

Webex Room Kit Plus PTZ

Webex とソニー製 PTZ (遠隔からパン/チルト/ズーム操作が可能) カメラの組み合わせにより中規模～大規模の教室、会議室、オーディトリウムなどでも、クオリティの高い映像によるスムーズなコミュニケーションを実現します。



活用
効果

使いやすく、授業利用展開もスムーズ カメラ、音響機器が据え置き型のため接続トラブルも少ない

▶ 活用状況はいかがでしょうか？

「Webex Room Kit Plus PTZ は 2021 年 4 月の新年度から、計 6 台を各教室で利用しています。オンラインでの画質や音質もまったく問題ありません。前述の通り本学では対面とオンラインのハイフレックス型で授業を行っています。授業ごとに URL が設定されており、学生はアクセスすればどこにいても授業に参加できます。学生はインターンシップや起業のための活動など自分の行動を制限されることなく、自宅で受けたい、教室で受けたいなど、授業の内容や自身の都合に応じて選択することができています。」(山内氏)

▶ 利用される先生方の反応はいかがですか？

「基本的な使い方は、私から簡単なガイダンスを実施しました。先生方はすぐに慣れ、問題なく使いこなせています。寄せられる質問は、ブレイクアウトセッションなどオンライン授業での有効な活用方法についてがほとんどです。カメラと音響システムを教室に据え置き型で設置したことで、先生方は自身のデバイスと Webex を接続するだけ。煩わしいセッティングが不要でトラブルも少なく、すぐに授業が開始できると好評です。」(山内氏)

今後の
展開

企業との連携や各種イベントなどへ活用範囲を拡大 高等教育のイノベーションにより新たな学びのカタチを目指す

▶ 今後の展開についてはいかがですか？

「現在は授業での利用が主ですが、今後は連携企業とのプロジェクトでも地理的な距離を感じさせない効果に期待しています。また、文化祭やオープンキャンパスなどの学生主体のイベントでの利用も予定されています。本学には 180°に客席を配したプレゼンテーション用のホールがあり、配信にも対応しています。開学からオンラインで始まっただけに、リアルなキャンパスと Web 上のバーチャル空間がシームレスにつながる、本学の特色を活かしたものになるでしょう。」(山内氏)

▶ 最後に、三菱電機システムサービスに対する感想と、期待をお聞かせください。

「スタートから親身に相談に乗っていただき、導入時も音声ほか連携について技術力を実感、頼もしく感じています。今後も教育の現場で利活用の促進につながるアイデアや新たなソリューション、情報の提供に期待しています。」(山内氏)

「常に丁寧かつスピーディに対応いただき、感謝しています。とすれば高等教育はイノベーションが進みにくい領域。またアフターコロナを見据え、対面とオンラインの双方の良さを活かす教育のあり方も模索しています。さらなる教員のスキル向上や事務側のバックアップ強化などで、引き続きの協力を期待しています。」(岡田氏)

Webex Room Kit Plus PTZ は、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

お問合せ先
三菱電機システムサービス株式会社
www.melsc.co.jp
映像情報通信事業推進センター
ネットワークシステム事業推進部
東京都品川区南品川2-3-6第7小池ビル2F
TEL: 03-6433-0187